

国際化学肥料ニュース (2012年2月)

肥料業界の2012年2月動態

* 2月13日、アメリカホワイトハウスは国会に提出した2012年度の政府予算には、2012年度の農業分野の補助金を3%削減し、230億ドルにすると提案した。主な削減項目は農家直接支払補助金の完全撤廃、作物保険の補助金削減、土地保全制度補助金削減など。2008年金融危機以降、アメリカ連邦政府の2009～2011財政年度財政赤字額が3年連続1兆ドルを突破した。2012年度の予算では、財政収入2.9兆ドル、財政支出3.8兆ドル、赤字額0.9兆ドルで、GDPの5.5%に達する。

* 北米のりん酸肥料生産状況： 中国やモロッコに比べ、北米のりん鉱石埋蔵量が多くないが、りん鉱石の採掘とりん酸肥料の生産、輸出が世界トップレベルを保ち続けている。2008年、北米のりん酸肥料生産量が3200万トンに達し、世界りん酸肥料の重要な供給先である。

アメリカのりん鉱石産地はフロリダ州、ノースカロライナ州、アイオワ州、テネシー州である。特にフロリダ州産りん鉱石が品質良く、採掘が容易であるため、アメリカりん酸肥料需要量の75%、世界りん酸肥料輸出シェアの約25%を占める。アメリカのりん酸肥料生産は中北部ミネソタ州に本拠地を持つMosaic社が最大メーカーである。Mosaicは主な生産拠点がフロリダ州にあるが、環境問題により、フロリダ州政府からりん鉱石採掘が規制されている。カナダに本社を置くPotash Corpはアメリカ第2位のりん酸肥料メーカーである。Potash Corpは主にノースカロライナ州にりん鉱石を採掘し、年間660万トンりん鉱石、130万トンりん酸、20万トンりん安の生産量を誇る。

カナダはりん鉱石資源が乏しく、りん酸肥料の生産は主に輸入りん鉱石に依存する。カナダ最大のりん酸肥料メーカーはAgrium社で、1999年からOntario州北部にりん鉱石を採掘しているが、当該鉱山が2013年末に採掘完了により閉山する予定。従って、Agrium社はモロッコOFC社との間に2020年までのりん鉱石輸入長期契約を交わし年間6.6万トンMAPを生産する。このほか、PhosCan化学はOntario州にりん鉱山を開発中で、Arian資源社もケベック州にりん鉱山の開発前期研究をしている。

* Mosaic社は今年上半期の世界りん酸肥料需要量が減少すると予測する。従って1～3月に計25万トンのDAPを減産する。ロシアのOAO Phosagro社も今年1～3月にMAPとDAPの生産量を18%減らす計画である。需要不振で、2011年7月から12月の間にDAPのフロリダ州タンパ港FOB価格が15%下落し、572ドル/トンになった。ただし、国際食糧価格の上昇及び発展途上国の肥料需要が依然旺盛であ

るため、今年 4 月以降のりん酸肥料価格が上昇に転じると Mosaic 社 CEO Jim Prokopanko は見ている。

- * サウジアラビア鋳業 (SAMC) は DAP の生産が順調で、2 月にもインドの TataChem に CFR600 ドル/トンの価格で 3.3 万トン DAP を輸出した。また、5 万トンをエチオピアに輸出予定で、価格は FOB570 ドル/トンである。
- * カナダ Canpotex は日本との間に 2012 年上期の塩化加里輸出価格の協議を完了した。CFR550 ドル/トンで、昨年より 20~25 ドル値上げした。2011 年、日本は Canpotex から約 100 万トン塩化加里を輸入した。
- * アメリカ肥料協会からのデータによれば、2012 年 1 月北米の塩化加里在庫量が 303 万トンに達し、2011 年同期より 58%も増えた。理由は塩化加里の価格上昇により、需要者の買い渋りと分析する。一方、2012 年 1 月の塩化加里生産量が 83.2 万トンで、昨年同期より 22%減、1 月の販売量が 52 万トンで、昨年同期より 53%減。なお、2011 年 7 月~2012 年 1 月の塩化加里生産量が 613 万トンで、販売量が 534 万トンであった。

大手各社の営業業績

- * カナダ Potash Corp は 2011 年第 4 四半期の業績を公表した。純利益 6.83 億ドルで、前年同期より 34.4%増。なお、2011 年の純利益は史上 2 位の 31 億ドル、2010 年より 80%増。2011 年 Potash Corp の塩化加里生産量 934.3 万トン、りん酸肥料生産量 (P2O5 計) 220.4 万トン、窒素肥料生産量 281.3 万トンであった。なお、投資先のヨルダン APC、イスラエル ICL、チリ SQM からの配当金は第 4 四半期だけで 1.16 億ドルになり、年間 3.96 億ドルに達した。
- * ノルウェイ Yara は 2011 年第 4 四半期の業績が良好で、粗利 6.95 億ドル、純利益 5.88 億ドルで、2010 年同期の 2.72 億ドルより 2.55 倍増加した。
- * ロシアの大手肥料メーカー OJSC 社は 2011 年の生産量を公表した。肥料生産量は 2010 年より 5%増の 509.3 万トンであった。その内訳は、硝安 265 万トン、MAP45.2 万トン、その他の肥料 159.5 万トンであった。
- * ロシア Acron は 2011 年の生産量を公表した。前年度に比べ、2011 年の肥料生産はアンモニア 2.8%増、窒素肥料 7.1%増、化成肥料 6.5%増、BB 混合肥料 20%増、全体では 5.3%増の 584 万トンであった。ほかに工業用化学品(工業硝安等)も 8.4%

増の 101 万トンであった。2012 年は 33 万トン／年の尿素プラントを新設し、尿素と硝安尿素を増産する計画。

肥料プラント新規建設

- * 三井物産等はペルー北部にあるりん鉱山の開発に 3 億ドル増資する。当該りん鉱山はブラジルヴァーレ社が 51%、三井物産が 25%、Mosaic が 24%の株式を持ち、2010 年からりん鉱石を産出している。元計画では年間採掘量が 390 万トンであったが、増資により 2014 年は 590 万トン、2015 年以降は 790 万トンの採掘量をす。なお、当該鉱山にはもう 1 ヶ所のりん鉱石選鉱工場を新設し、その増産するりん鉱石の選鉱精製に備える。

- * 2012 年 1 月 29 日、中国化学工程グループが建設するベトナム Ninh Binh 県にある金鷗尿素工場が全面完成した。当該尿素工場はペトロベトナムの子会社 PFCC の工場、2008 年 7 月 1 日着工、年間生産能力 80 万トン尿素。一方、2012 年ベトナム化学工業グループも 56 万トンの新尿素工場が完成する。2013 年にはベトナムの尿素生産能力が 236 万トンに達する予定である。2012 年の国内尿素需要量が 180 万トンであるため、2013 年以降は 56 万トン／年の輸出余裕が出ている。

- * マレーシア Petronas Chemicals Group が Sabah 州に建設する予定のアンモニア／尿素工場は着工した。総投資額 14.87 億ドル、設計生産能力はアンモニア 2100 トン／日、大粒尿素 3850 トン／日、2014 年完成する予定。工場建設は三菱重工業、アメリカ Apex、地元 Sabah の企業からなる JV が担当する。当該工場が完成すれば、マレーシア Petronas Chemicals Group が東南アジア第 2 位の尿素メーカーとなる。

その他

- * 2012 年 2 月 2 日、インド政府はイスラエルと台湾原産のりん酸に対して、不当廉売関税を徴収する決定を下した。2011 年 2 月からインドがイスラエルと台湾原産のりん酸に対する不当廉売調査を開始し、2011 年 10 月に初期裁定を出して、今回は最終決定である。イスラエル産りん酸に対して 174.06～194.51 ドル、台湾産りん酸に対して 116.45 ドルの不当廉売関税を徴収する。

- * インド肥料協会からの情報によると、インド国内 2011 年 4～12 月の化学肥料販売量と国内生産量が下記の通りである。
DAP：販売量 764.6 万トン、国内生産量 282.3 万トン。
過りん酸石灰：国内生産量 304.7 万トン。

化成肥料：販売量 804.2 万トン、国内生産量 275.1 万トン。

- * フランス GPN 社は Borealis 社に PEC-Rhin S.A の 50%株式を譲渡した。これは GPN 社の親会社フランス石油ガスが主導で行ったもので、目的は GPN 社から不採算の肥料事業を剥離する。Borealis は昨年 11 月から GPN と接触してきた。PEC-Rhin はアンモニア、硝酸、硝安石灰、硝安を生産している。本件の買収により、Borealis が NEP-Rhin 製品の独占販売者となる。

- * ロシア Ural chemical Group は昨年末に Sibur 鋳業肥料の 51.22%株式を追加把握したため、当該企業の 98%株式を有し、完全子会社にした。また、Perm 尿素工場の 50%以上の株式も入手した。これにより、Ural chemical Group は年間 580 万トンの尿素生産能力を有し、ロシア第 2 位の尿素メーカーとなる。